



申請書類の記載例(排除量申告(届出)書)

様式第9号(第11条、第14条の2関係)

小田原市公共下水道下水排除量申告(届出)書						
					① 年 月 日	
小田原市長 様					申告(届出)者 住所 氏名 電話	
						②
						印
次のとおり申告し(届け出)ます。						
出 場 所	住 所	小田原市 ③				
	需要者番号	水道水以外	④		水道水	⑤
一 般 家 庭	使用水区分	自家水専用		水道水併用		
	世帯人員	⑥ 人		⑦		
	井戸水使用箇所	/		水洗便所・浴場・台所・洗濯場・ 屋外給水栓・その他 ()		
	下水排除量			人× 立方メートル= 立方メートル/2か月		
営 業	営業内容					
	排除量の計算式					
	下水排除量	立方メートル/2か月				
備 考 欄		⑧				
課 長	副課長	業務係長	係 員	担当者	起 案 日	
					決 裁 日	
					通 知 日	

___月請求分より 開始・再開・変更・休止・廃止 してよろしいか。 甲・乙・県

記入について

- *  . . . 申請時に記入する欄です。
- *  . . . 必要により記入する欄です。

記入内容の詳細

- ① **記入・押印した日を記入してください。**
 - ② **申告者（工事発注者）の住所・氏名・電話番号を記入し、押印してください。**
 - ・ 印鑑は、朱肉を使用するものを使用してください。スタンプ印は不可です。
 - ③ **実際に工事を行った場所を住所表記で記入してください。**
 - ④ **すでに井戸水等の下水流入があった場合、既存の需要者番号を記入してください。（建替や改造、増築の場合など）**
 - ・ 新築、井戸の新設等で付番が必要な場合のみ空欄でご記入ください。
 - ⑤ **水道水の下水流入もある場合は、水道の需要者番号を記入してください。**
 - ⑥ **下水への流入が井戸水のみの場合が「自家水専用」です。
居住者数を記入してください。**
 - ⑦ **下水への流入が井戸水と水道と両方ある場合が「水道水併用」です。
居住者数を記入し、井戸水の使用箇所○をしてください。**
 - ・ 洗面所は「浴場」になります。
 - ・ 「屋外給水栓」はパン(受け台)があり、下水流入している場合は○をしてください。
 - ⑧ **場合により記入してください。**
 - ・ 使用者が申請者と異なる場合 = 「名義は××××」
 - ・ その他、補足が必要な場合。
- ※ **営業用で使用する場合は、事前に下水道総務課にご相談ください。**
- ・ 営業用で使用する場合、下水道使用料の算出に係る水量を把握するため、原則としてメーターを設置していただきます(自己負担)。
 - ・ 検針は水道と同じく、水道局料金センターが行います。
 - ・ メーターの設置又は検針の立ち入りが難しい場合はご相談ください。